

学校関係者評価報告書

令和 7 年度

令和 7 年 8 月 27 日

学校法人 則天学園 大阪動植物海洋専門学校

大阪動植物海洋専門学校

I 重点目標について

- 1 人と共生する生き物の在り方を、自然や環境とともに考える。そして、日本だけでなく世界的な視野をもち、グローバルな視点から学ぶ。
- 2 社会状況の変化の中で教育現場の変化も考慮しつつ、職業教育を重視する専門学校ならではの特色を強化する。
- 3 学生の心身の健やかな成長と市民社会での健全なモラルを養成する。また、学習で得た知識をもとに、いかに社会貢献ができるかという高い志を育てる。

II 各評価項目について

教育理念：生き物や自然と共生できる持続可能な社会の在り方を考える学生の教育を理念とする。

教育目標：最新の各種自然系の研究成果を踏まえ、座学だけでなく、フィールドに出て自然の営みを知る実践的指導を通して協調性と課題解決能力を持った人材の育成。

令和 7 年 8 月 27 日
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告

令和 7 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員会委員

No	氏名	所属
1	亀井 哲夫	大阪動植物海洋専門学校 校長
2	三宅 達彦	大阪動植物海洋専門学校 教務課長
3	鳥飼 悠紀	大阪動植物海洋専門学校 事務長
4	杉山 弘樹	大阪動植物海洋専門学校 教員
5	梅津 哲豪	株式会社 PM Agent CEO

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第 1 回委員 令和 7 年 4 月 16 日

第 2 回委員 令和 7 年 4 月 23 日

第 3 回委員 令和 7 年 5 月 7 日

第 4 回委員 令和 7 年 5 月 21 日

第 5 回委員 令和 7 年 6 月 20 日

第 6 回委員 令和 7 年 7 月 4 日

第 7 回委員 令和 7 年 7 月 16 日

第 8 回委員 令和 7 年 8 月 1 日

第 9 回委員 令和 7 年 8 月 20 日

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

Ⅰ 教育理念

教育理念に基づき、教育目標の実現を目指してシラバス、カリキュラムを作っている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
• 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
• 学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
• 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
• 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
• 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

①課題

理念、教育目標等について教員間での再確認がまず必要と考える。

②今後の改善方策

教育分野に長けた能力をもった熱意ある教職員の育成・採用。

③特記事項

指導内容に沿った実践ができているかの評価が必要。

学生指導においての評価は適切か、評価を意見した新たな授業方法を積極的に実施しているか、教員の評価をする。

2 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
• 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
• 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
• 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
• 人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
• 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
• 業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
• 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
• 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

組織体制のシステム化。

②今後の改善方策

役職に応じた人材の配置。

③特記事項

コンプライアンスを明確に提示する。

3 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
• 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	4 ③ 2 1
• 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
• 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
• キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
• 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
• 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
• 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
• 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
• 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1
• 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
• 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
• 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
• 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
• 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

他校にはない「セールスポイント」が弱い。

②今後の改善方策

より特色ある授業の展開のため、適切な教員を確保する。

③特記事項

教員の能力を向上させるための研修等が必要。

4 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

①課題

現代社会の変化に対応した調査や観察を日ごろから意識する。

②今後の改善方策

キャリアセンター設置。

③特記事項

OB・OG 会などの設定。

5 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・ 保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

学生の学習意欲を高める教材の研究。

②今後の改善方策

コース間の教材のすりあわせや到達目標の共有化。

③特記事項

インターンシップ等、外部との接触を通して就職意識や社会性を自覚させる。

6 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 (3) 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

①課題

今の進歩した新技術に対応した教材の不足。

②今後の改善方策

新技術に関する知見を普段から意識して収集することに努める。

③特記事項

南海トラフ地震等を想定した防災訓練の実施。

7 学生の募集と受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 (3) 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1

①課題

日本人学生に対するアプローチ、特に高校2年生に対してのアプローチが出来ていない。

②今後の改善方策

学校訪問を中心に、募集・受入れ活動を丁寧に実施する。

③特記事項

特になし。

8 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

①課題

収入のもとになる学生数の確保。

②今後の改善方策

特色ある教育のアピールを SNS など外部発信する。

水道光熱費等の経費削減を図る。

③特記事項

特になし。

9 法令などの遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

①課題

コンプライアンスの意識を育てる。

②今後の改善方策

人権教育や法令順守の講演会・研修会の実施。

③特記事項

特になし。

10 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
• 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
• 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
• 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

①課題

地域・社会に開かれた学校づくり。

②今後の改善方策

地域との連携・協働の実施、また、それによる教育活動。講座の一般公開。

③特記事項

研究会などへの積極的な参加。

11 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
• 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
• 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2	1
• 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	③	2	1
• 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1

①課題

日本人学生との交流。

②今後の改善方策

イベント等と適した交流機会の創出。

③特記事項

特になし。